



しぱれっと

Palette



11

2021 November
vol.255

特集「営農振興計画」最終年度の取り組み ～「農地の流動化と労働支援の推進による農地の有効活用」 重点実施事項①②の達成状況について～

農を担う
野菜農家 浅生 桂一 さん
御津地区……………10ページ

今月の折り込み

もち米(精米・玄米) 予約注文書
令和3年度 冬季農薬予約注文書

ほか

「営農振興計画」最終年度の取り組み

「農地の流動化と労働支援の推進による農地の有効活用」

重点実施事項①②の達成状況について

令和元年からの営農振興計画の基本方針と行動計画に沿って進めた取り組みを紹介いたします。

農地の流動化と労働支援の推進による農地の有効活用

重点実施事項①

農地の流動化によるほ場の集積・整備ならびにモデル生産団地の育成

を入力したり閲覧することが可能です。また、生産履歴や作業記録をデータ入力することにより情報を蓄積することができ、品質向上、収量増大につながる次期作の栽培計画も可能となります。

●「営農振興計画」の基本方針の1つである「農地の有効活用」について、農地の流動化・整備に必要な管内の農地情報の集積のため、JA独自の地図情報システムを構築しデジタル化に取り組みました。このシステムは、「地図」と「台帳」が1つになったツールです。自分が耕作しているほ場の場所が地図で表示されて、必要な情報

●耕作放棄地対策として、加茂川ぶどう部会では農地台帳整備を行うための経営意向調査を実施しました。一宮選果場果樹部会では2回目の調査、また、牛窓地区では畑地を中心とした初めての意向調査について協議を行いました。



管理は場がデータ上で一目瞭然です

いずれの市町村も貸付希望面積(出し手)よりも借受希望面積(受け手)の方が大幅に大きく、需要と供給のバランスが取れていないのが現状です。

吉備中央町(管外を含む) 112・7畝 合計1,182・4畝

重点実施事項②

農作業受委託組織による農作業支援体制の確立

●園芸品目の作付や契約販売の拡大による園芸振興を図ることを目的に、収穫支援による産地の維持に努めています。業務委託契約を締結し、JA岡山管内の組合員の農作業支援(収穫、搬送、選別業務等)を行っています。

【農作業受委託事業実績(令和2年度)】
面積32・7畝、委託農家数128戸、受託農家数17戸

【令和2年度支援実績】

収穫作業

白菜925畝(西大寺宮農センター管内256畝、瀬戸内宮農センター管内669畝)、キャベツ134畝(西大寺宮農センター管

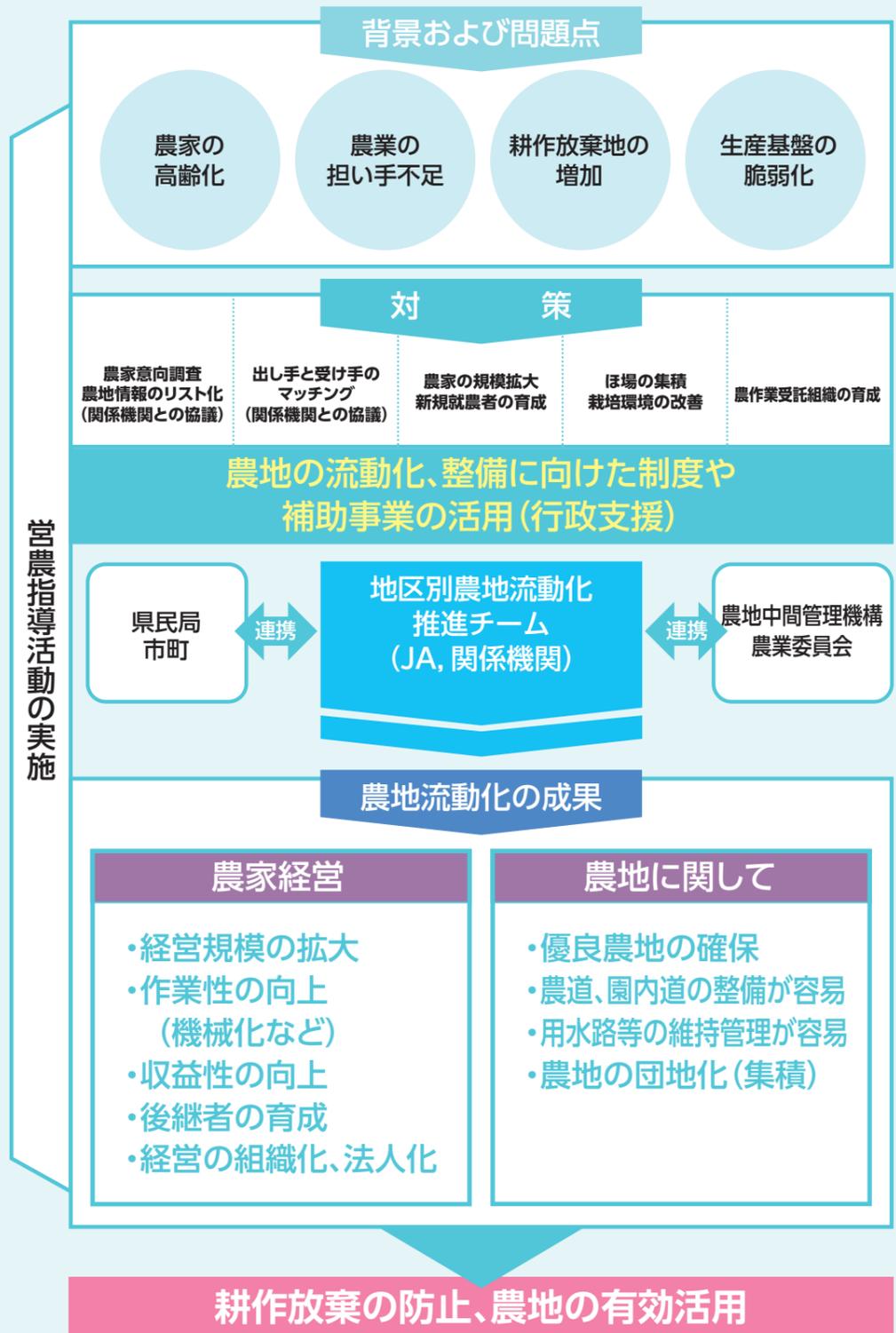
【農地中間管理事業実績累計(令和2年度)】
岡山市1,008・7畝、玉野市16・4畝、瀬戸内市44・6畝、



農作業支援(収穫作業)

農地流動化の考え方

目的:耕作放棄地の解消と農地の有効活用



予告 ぱれっと12月号では、「営農振興計画」最終年度の取り組み「営農指導体制の充実」重点実施事項①を掲載予定です。



1日単位で人手が確保できると好評の「1日農業バイト」

【令和2年度実績】
募集人数137名

内32^名、瀬戸内営農センター管内102^名、糸巻き作業
白菜152^株、(西大寺営農センター管内8^株、瀬戸内営農センター管内144^株)
畝立て作業
夏秋ナス17・4^株、(西大寺営農センター管内9・2^株、藤田営農センター管内5・7^株、建部営農センター管内2・5^株)

●「1日農業バイトdaywork」は農家が1日ごとに作業の内容や時間、日給などの条件を登録してアルバイトを募集し、求職者が条件を確認して都合のいい日の作業に応募でき、労働力を必要とする生産者と、アルバイトをしたい一般の方を無料でマッチングするシステムです。管内大型農家への登録提案を行い、円滑なマッチングにつなげることができました。



(応募者数254名)
成立人数130名
(マッチング率95%)
※天候等の事情により中止になった場合を含みます

今回の3力年で新たに設定した「農地の流動化と労働支援の推進による農地の有効活用」は、これまでは市町村などが主導となっていたものでした。農業振興の中で最も難しい課題のひとつですが、今後もJAが出向き農地情報を集積し、JAと行政、農業委員会、農家の皆さまと協力し、連携をしながら取り組んでまいります。

品質のよい野菜をつくるために 努力を惜しまず取り組む

浅生 桂一さん

御津地区：野菜農家

「あさお けいいち」

昭和36年生まれ。㊦建部きゅうり部会所属。キャベツ、トウモロコシ、キュウリなど5畝で約50品目を栽培。妻、息子1人、娘3人の6人家族。趣味はビリヤード。座右の銘は「報恩謝徳」。



浅生さん（左）と従業員の原田明子さん

―農業を始めてからは

最初は専門知識を知らず、タマネギを栽培した際には、ほとんど病気になってしまふなど苦勞の連続でした。ほ場を貸してくださっている地域の方の協力やJAの営農指導員に教えてもらいながら年々よい物ができるように頑張りました。

―栽培上でのこだわりは

土づくりをこだわっています。知り合いの牧場経営者から仕入れた牛糞堆肥を入れたり、土壤改良用肥料は常に切らさないようにしています。成分の調整だけではなく有機肥料を増やすなど工夫をしています。野菜は連作ができないので、ほ場を休ませる所と動かす所のメリハリをつけて栽培をしています。

人が集まる農業を目指して

―今後の抱負は

ほ場の数が多く面積も広いですが、小さいほ場の管理が出来ないと大きな管理も難しいと思っているので、今後も試行錯誤しながらよりよい品質の野菜づくりを目指します。播いた種に責任を持ち、できたものをロス無く採るために「一日農業バイト」等を活用し、人が集まってくれるような農業を目指して頑張っていきます。



農業について思いを話す浅生さん

9月22日、御津地区の浅生桂一さんにお話を伺いました。

悔しさをバネに 農業に取り組む

―就農したきっかけは

就農前は農業生産法人に勤めネギの生産と販売をしていました。その後独立し、野菜農家となりましたが、なかなか高品質なものが作れない悔しさや、農業経営の難しさを体感しています。うまくいかないからこそ、次はよいものをつくりたいという思いが強く、日々勉強だと思ひ尽力しています。

―農業のやりがいは

ほ場で作業をしているときに、地域の方に「次は何を植えるの」など温かい声掛けをいただけることです。地域の方には場を貸してもらい、私に任せてもらえることに感謝していますし、期待に応えたいと思っています。

聞き手…JA岡山広報担当



キャベツの生育具合を確認



JAの営農指導員と相談しながら作業を行います

野菜

タマネギの栽培ポイントを紹介します



営農部指導課 宮本 大輔

●タマネギ栽培のポイント

家庭菜園の中でも多くの方が栽培するタマネギはいろいろな料理に欠かせない野菜です。早生から中生種までさまざまな品種もありますので、ぜひ栽培してみましょ。タマネギが健全に生育できるように心がけます。排水がよく根が深く張れるように心がけます。貯蔵用には中生種を選びます。栽培しているところ「あれ何で？」と思うことがあると思います。栽培のポイントをまとめました。

●とう立ち(抽苔)

4月にかけてとう立ちする事がありますが、少量(2〜3%程度)であれば全体の生育が順調な証で除去の必要はありませんが、多くある場合このままにしておくと、養分が花や茎に使われ、球の肥大が悪くなるので、早めに晴れた日の午前中にと立ちした部分を除去します(資料1)。

花き

アネモネは色別の花言葉に注意!



営農部指導課 中川 雄一

●まだまだ秋植え球根が植えられます アネモネの植え付け

9〜11月は球根や宿根草の植え付け時期です。遅くなりすぎると冬の前に根を張るのが難しくなりますが、まだまだ大丈夫。近年花色も増え、切り花用の品種もあるアネモネ、初めての方も植えてみてはいかがでしょうか。

●特性

元々日当たり、風通しのよい排水良好な場所が好きで、比較的寒さには強く暑さと過湿が苦手です。アネモネの名前も風を意味するギリシャ語からとされ、春風に揺られる可憐な花をイメージさせます。花言葉はギリシャ神話にちなんで「はかない恋」などちよつと残念なものです。色別には「希望」「真実」「待望」などさまざまあり、贈り物にするなら色をきちんと選びましょ。

●吸水処理

販売されている球根は、一昨年掲載のランキュラスと同じように乾燥させていて「これを植えても大丈夫かな?」と思わせる姿です(資料5)。夏期雨の少ない原産地の気象に適應した特性で、この姿で乾燥期を耐え

【とう立ちの主な原因】

ある一定の大きさに達した苗が、低温にあうと花の基を分化して、茎が伸び春にむけてとう立ちが進みます。早生の品種はとう立ちしにくい性質を持っています。

①大苗の定植や早植え、多肥栽培や暖冬で厳寒期までに生育が進んだ場合。

※分球も同じ条件で発生します。②冬季に肥料不足等で生育が停滞した時。

【苗の準備】

品種ごとの播種適期を守り、育苗期間は、播種後50〜60日程度です。早播きに注意します。早生品種では株元の太さが8〜9程度、中生・晩生では、株元の太さが7〜8程度より大きい苗を定植すると、とう立ちの原因になります。

【定植時期】

定植時期は早生11月上旬中旬ごろ、中生・晩生11月中旬ごろ〜11月下旬ごろです。

植え付け深さは、2〜3センチ程度として、極端な深植えは生育が悪く、浅植えは土壌乾燥の影響を受けやすく、生育がばらつく原因になります。

【追肥】

1月下旬〜2月上旬と3月上旬に速効性化成肥料(園芸化成S550等)1回に10平方センチあたり400g等を2回散布します。基肥に追肥不要の緩効性肥料を使用している場合は、追肥の必要はありませんが、2月ごろに肥料切れを起こさないように注意します。

●貯蔵中の病害対策

肥料の過剰や遅い追肥は病害の発症を助長します。球根類も、日照を好むもの、強光が苦手なものなどさまざまです。適した場所を選びましょ。特にユリ! スカシユリや鉄砲ユリ、カノコユリ、オニユリなどは日向が好きです。逆にヤマユリやササユリは強光に弱いので、春以降、明るい日陰になるところを選びます。多くの園芸品種はこれらを交配しているため、特性がさまざまです。各品種の特性を確認して栽培することが望ましいといえます。ユリは球根の上の茎から出る吸収根が多いと立派に育つので、球根の大ききの3倍程度の深さに植えます。そのため、深いところまで通気性のよい土づくりをして排水性をよくしておかないといけません。

●定植準備と定植

日当たりのよい場所で、排水性のよい用土・畝作りをましょ。腐葉土、良質の堆肥などをすき込み、中性から弱アルカリ性が適しますから有機石灰などを施用します。少量の緩効性肥料を入れ、不足するようなら早春からの追肥で調整します。株間は25センチ程度で、覆土は約3センチとします。ピオラなどの混植をすると、賑やかなピオラの間に早春からアネモネが顔を出す演出ができます。その場合は、株張りのよいピオラとの株間も余裕を待たせておきましょう。

●各種球根の植え付け場所について

11月にもなると落葉樹の葉が次第に減り、庭が明るく開けてきます。この時期に植え付けると、日が当たってしまったのに、初夏には木陰になって

生を助長します。

薬剤防除は生育時に球が肥大する前から行い(資料2)、収穫時は天日干しをして、十分に乾かすことで貯蔵病害を軽減できます。

【灰色腐敗病】

ボトリチス菌が主に球の上部から侵入し、肩などが腐敗します(資料3)。

【黒かび病】

貯蔵中に発生し、高温や風通しが悪いと発生しやすくなります。梅雨が明けると高温期に入ると発生がみられ、症状は外皮を剥くと表面に黒色のカビが発生し、品質を低下させます。球全体が腐敗することはありません(資料3)。

●収穫と貯蔵

球が肥大して成熟すると、葉が倒れてきます。茎葉が70〜80%倒れてきたら、収穫適期です。倒伏がそろってから首が柔らかくなったところに収穫を行うと十分な糖分の蓄積により、おいしく貯蔵性のよいタマネギになります。

2〜3日晴天が続いた日に抜き取り、2〜3日畝の上で乾燥させてから、球はしっかり充実したものを風通しのよい日陰に干して貯蔵します。遅い収穫は裂皮や病害が多くなります(資料4)。

資料1 とう立ち



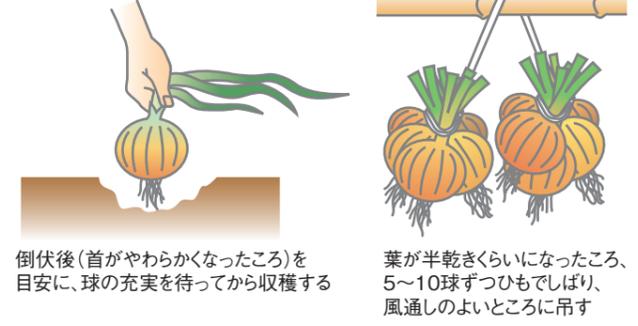
資料2 タマネギの薬剤防除(例)

病害虫名	農薬名	使用量/使用時期/使用制限
軟腐病、べと病	Zボルドー(野菜類登録)	500倍/ - / -
灰色腐敗病、黒かび病	ベンレート水和剤	灰色腐敗病2000〜3000倍・黒かび病2000倍/収穫前日まで/6回以内
べと病、白色疫病	ランマンフロアブル	2000倍/収穫7日前まで/4回以内

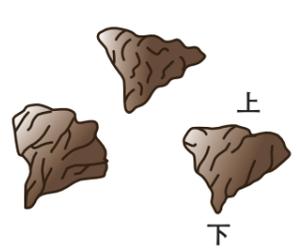
資料3 貯蔵中の病害



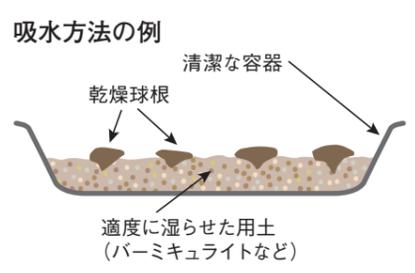
資料4 収穫と貯蔵



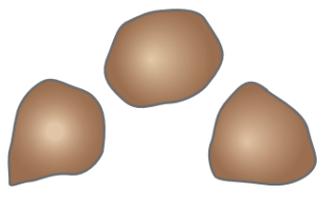
資料5 アネモネの乾燥球根



資料6 吸水処理



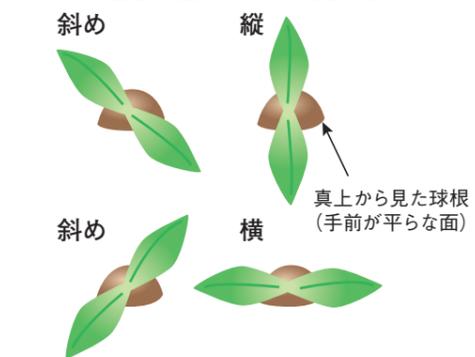
吸水後ぷっくり膨らんだ球根



●植え付け時期

スイセンやユリは年内にしっかりと根を張らねばいけません。早めに植えます。ランキュラスやアネモネは気温が下がってからのほうがむいてるので、やや遅めの定植が適します。また、ランキュラスはフリージアと同じく、耐寒性がやや弱く秋のうちに成長しすぎると寒さで傷みやすい点でも遅めがむいています。

資料7 チューリップの球根の形と葉の出る方向(同一品種はほぼ同じ)



●チューリップのむき

秋のチューリップは球根の中にもう花や葉ができていますから、葉の出るむきも決まっています。球根のむきをそろえると葉のむきもそろいます。ただしその方向は品種で異なります(資料7)。

また、遅くなって植え忘れた球根があったら、とにかく植えておきましょう。来年は開花しないかもしれませんが、多くの場合維持はできます。

果樹



営農部指導課
武田 祐一

落葉の処理や
点検整備を
行いましょう

基肥や堆肥の施用は早めに行い、灌水して肥効を促します。秋冬時期も乾燥が続くような場合は、たまには灌水してあげましょう。落葉の処理や施設の点検整備などもこの時期に行いましょう。

●果樹苗木植え付け

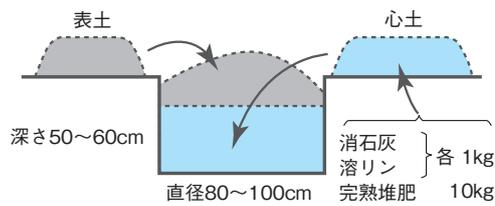
・苗木の準備

果樹苗木は12月末には早期注文の苗木から順番に配付されると思います。植え穴は、肥料等をなじませるため、定植予定の1〜2カ月程度前までに準備しておきます。

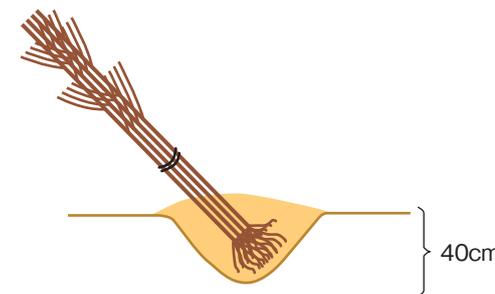
苗木1本につき、直径80〜100センチ、深さ50〜60センチくらいの穴を掘ることに

資料8 苗木植え付け

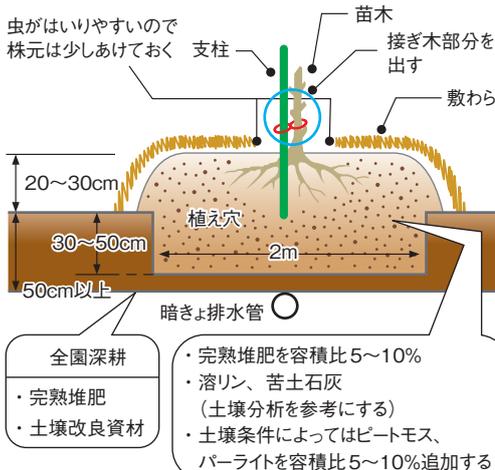
苗木の準備



苗木の仮植え



資料9 果樹苗木植え付け



・接ぎ木部を地上に出し、深植えにならないように注意する
・切り接ぎ苗は、接ぎ木部の30cm程度上で切り返す

なりませす。土質等によりこの深さまで掘るのが難しい場合は、深さ30センチ程度は掘るようにしましょう。掘った穴には石灰類(苦土石灰・苦土セリカ等)、リン酸類(溶リン・リンスタール等)各1キと良質堆肥(よく発酵したもの)は臭みが少なく、握るとこまかく砕ける)10キをよく土と混和して埋め戻し、表土を20〜30センチ盛り上げるようにしておきます(資料8)。ブルーベリーの場合は、酸性土壌を好む性質があるので、石灰の代わりにピートモスを施用しましょう。苗木の準備が遅れた場合は、何処かへ穴を掘って仮植えしておきましょう。この時に注意して欲しいのは、苗木の束が大きく結束している場合は、ほどこいて根が密着しすぎないように少し離して仮植えしておきます。3月の春植えに向けて苗木を準備します。それまでは仮植え時に乾燥して根が乾いて枯れないように水分は適当に与えましょう。

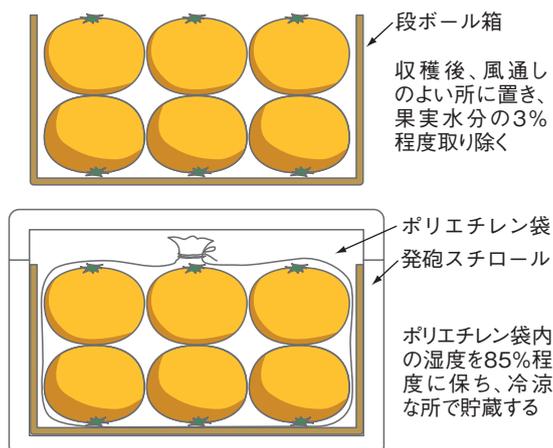
・植え付け

小高い丘のように盛り土して植え付

●カンキツ類の収穫と貯蔵について

早生温州は7割以上着色した果実を10月下旬〜11月中旬に、普通温州では8割着色した果実を11月中旬〜12月下旬に収穫します。夏みかんは2月ごろが完熟期ですが、寒さに当たると浮皮になったり著しく品質が低下するので、時期を

資料10 カンキツ類の貯蔵



めめて12月下旬〜1月上旬に収穫します(寒波に当たっても3回が限度)。ユズは7〜8割着色した10月下旬に果汁が最も多くなるので、果汁用はこの時期に収穫します。

・貯蔵

ミカンは収穫果を風通しのよい納屋又は倉庫内の床および棚で行う場合、果実を浅い容器に並べて置いておきます。温度5〜10℃、湿度80%程度、約2週間程度で果実重量が約3%(果実重100キが97キになる程度)減少する程度を目安として予措を行います。その後、資料10のように果実を並べビニールで覆い、発砲スチロール箱へ入れ湿度を保ちながら冷涼な所で貯蔵しましょう。貯蔵中は7〜10日ごとに腐敗果を取り除きます。ユズは10℃以下の冷涼な場所なら12月まで貯蔵できます。また、温度3〜5℃の冷蔵庫でビニールに包み、湿度を85〜90%に保てば3月下旬まで貯蔵できます。



米粉を使った
田舎風すいとん

JA岡山女性部監修

OKOME おこめレシピ RECIPE

材料 (4人分)

油揚げ	1枚	A	薄口しょうゆ	大さじ1
大根	100g		濃口しょうゆ	小さじ1
人参	50g		塩	小さじ1/2
ごぼう	50g		砂糖	少々
さつま芋	中1本		<すいとん>	
椎茸	2枚	米粉(うるち米60%,もち米40%)	80g	
しめじ	1/2袋	※市販の米粉でもよい		
ネギ	適量	れんこん	100g	
だし汁	8カップ	酢(色止め)	少々	
		熱湯	25cc	

作り方

- 油揚げは湯通しをしてから短冊切り、大根と人参はいちょう切り、ごぼうはささがきにして水に浸けてアクを抜く。さつま芋は1cm厚さの輪切り(大きければ半月切り)、椎茸は薄切り、しめじは小房に分け、ネギは小口切りにする。
- 鍋にだし汁とネギ以外の①の具材を入れ、野菜に火が通ったら<A>を加えて煮込み、火を止める。
- <すいとん>を作る。
れんこんは皮をむいてすりおろし、酢と熱湯を合わせて混ぜる。米粉を加えて耳たぶくらいの固さにこね、一口大の平らな団子を作る。
- 別の鍋に湯を沸かし、団子を茹でる。
- ②の汁を煮立たせ、団子を加えさっと煮る。
- 器に盛って、ネギを散らす。

Magogram

あぐろ
グラム

編集後記

「富有柿」 栽培百年の礎

今回のあぐろグラムでは、岡山市中区沢田操山公園里山センター前の広場にある「沢田富有柿百年之碑」についてご紹介します。

沢田地区は明治時代から百年以上続く柿の産地です。碑文には、当時県外から取り寄せた苗が土壌に合い栽培が始まったことや、抜群に甘味がよく、広く国内外に出荷された歴史、また先人が汗と涙と泥にまみれて山を拓いた長年の苦労と努力への感謝が刻まれています。

「富有柿」百年の歴史とそれぞれの時代を担ってきた先人の苦労がうかがえる記念碑です。

編集担当 久山 隆一

